取扱説明書 別冊

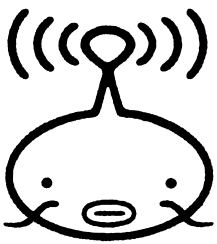
SANYO

デジタルコードレス留守番電話機

品番TEL-LAN60
TEL-LANW60
TEL-LANT60

このたびは、サンヨーデジタルコードレス留守番電話機を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
特に、注意事項（1,2ページ）は必ずお読みください。

※取扱説明書を紛失、または汚れなどで読めなくなったときは、
お買い上げの販売店で購入（有料）してください。



緊急地震速報
来る前に知る

緊急地震速報（予報）について

もくじ

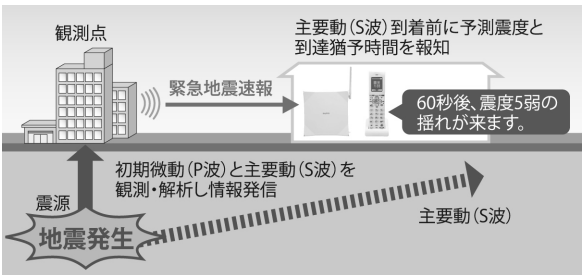
緊急地震速報（予報）をお使いの前に…… 1
緊急地震速報（予報）の設定をする…… 3
緊急地震速報（予報）の動作を確認する…… 5
バージョンを確認する…… 7
ファームウェアを更新する…… 8
緊急地震速報（予報）の報知内容について…… 9
緊急地震速報通知メールを使う……11
安否確認メールを送信する……12
Ｗｅｂブラウザで設定をする……13
　緊急地震速報（予報）の設定をする……13
　高度な設定をする……14

緊急地震速報（予報）をお使いの前に

緊急地震速報（予報）について

緊急地震速報は、地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早く知らせる情報です。
（気象庁HPより）

※直下型地震の場合など、緊急地震速報が主要動の到達に間に合わない、もしくは猶予時間が極端に短い場合があります。
※震度・到達猶予時間などの予測に誤差が生じる場合があります。
※地震以外の要因による誤報が生じる場合があります。



注意事項

●緊急地震速報（予報）は、震源地に近い場所では間に合わないことがあります。
本機種は、緊急地震速報（予報）を利用して予測震度・猶予時間（大きな揺れの到着までの時間）を報知しますが、実際の震度・猶予時間と差が生じることがありますのでご注意ください。
●緊急地震速報（予報）をお使いになる前は、緊急地震速報（予報）の動作を確認してください。（5ページ）
また、メール送信の設定（取扱説明書114ページ）を変更したときは、必ず「メールテスト」をしてメールが送れることを確認してください。

＜必ずお読みください＞

- 本機で報知される予測震度・到達猶予時間は、実際の震度・到達時間とは異なることがあり、正確性や確実性を保証するものではありません。
- 地震その他の災害に伴う事故や損害などにつきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

緊急地震速報サービスを利用するには

1. サービス提供事業者との契約が必要です。（有料）

料金やサービス内容など詳しくは、サービス提供事業者へお問い合わせください。

★フレッツをご契約中のかた、またはご契約を検討中のかたはこちらを
「緊急地震速報 フレッツタイプ」
https://506506.ntt.com/internet/jishin/index.html

★IPv6インターネット接続のご利用を希望されるかたはこちらを
「OCN緊急地震速報」
http://www.ocn.ne.jp/jishinsokuho/
※本サービスのご利用には、別途「OCN IPv6」サービスへの加入が必要になります。
http://www.ocn.ne.jp/ipv6/

<2008年5月現在>

2. 本機の設定が必要です。

- ネットワーク設定（取扱説明書97,98ページ）
- 緊急地震速報（予報）の設定（3ページ）

- 本機の故障、修理期間、誤動作、または誤った設定によって緊急地震速報（予報）の不報知、予測に誤差が生じるなどの事態が発生し、本機を利用することで生じた損害などにつきましては当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 気象庁から送信される緊急地震速報には、誤報が含まれていることがあり、本機が緊急地震速報（予報）を報知しても地震が発生しないことがあります。
- 地震の発生を気象庁が観測できなければ緊急地震速報は送信されません。また、通信網の障害により緊急地震速報が受信できないことがあります。このときは、本機が緊急地震速報（予報）を報知していないときでも地震が発生することがあります。
- 気象庁が提供する高度利用者向け緊急地震速報（予報）の内容・発表条件に従って、緊急地震速報（予報）推定震度3以上のときに報知します。震度3以上、または震度4以上のどちらかに設定可能ですが、自己責任管理下でご利用ください。
- 停電やネットワーク障害など本機以外の外部要因によって、緊急地震速報（予報）の不報知、予測に誤差が生じることが発生し本機を利用することで生じた損害などにつきましては当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

緊急地震速報（予報）の設定をする

1 待受表示中に
（メニュー 決定）を押す

2 の▼または▲を押して
「親機設定」を選び、
（メニュー 決定）を押す

3 の▼または▲を押して
「緊急地震速報」を選ぶ

4 （メニュー 決定）を押す

5 の▼または▲を押して
「サービス設定」を選ぶ

6 （メニュー 決定）を押す

7 の▼または▲を押して
「サービス種別」を選ぶ

※4ページの「緊急地震速報サービス種別割り当て表」をご覧ください。

8 （メニュー 決定）を押す

9 ダイヤルボタンで、契約番号を入力する（取扱説明書62ページ）

10 （メニュー 決定）を押す

11 ダイヤルボタンで、
パスワードを入力する
（取扱説明書62ページ）

12 （メニュー 決定）を押す

13 ダイヤルボタンで、設定情報を入力する（取扱説明書61ページ）

14 （メニュー 決定）を押す

15 **13**と**14**を続けて、
設定情報1～5までを入力する

設定内容が確定され、親機が自動的に再起動されます。

※再起動中は、親機のLANランプが点灯（赤色）されます。
点灯中は、ネットワーク設定を表示することはできません。

お知らせ

- 契約番号・パスワード・設定情報は、サービスの種別により、4ページ「緊急地震速報サービス種別割り当て表」のように割り当てられています。
  各項目の内容については、サービス提供事業者にお問い合わせください。
- ネットワークに接続されているパソコンを使って、ブラウザ操作によりサービス設定の変更をすることもできます。（13ページ）

緊急地震速報サービス種別割り当て表

サービス種別 **種別 1**	**OCN緊急地震速報**
契約番号	OCN 認証ID
パスワード	OCN 認証パスワード
設定情報1	固定/非固定プレフィックス用接続サーバ名
設定情報2	緯度
設定情報3	経度
設定情報4	地盤増幅率
設定情報5	報知レベル（「3」または「4」）※1

サービス種別 **種別 2**	**緊急地震速報 フレッツタイプ 東日本（フレッツ 光ネクスト以外）※2**
契約番号	ー（入力不要）
パスワード	ー（入力不要）
設定情報1	緯度
設定情報2	経度
設定情報3	地盤増幅率
設定情報4	報知レベル（「3」または「4」）※1
設定情報5	ー（入力不要）

サービス種別 **種別 3**	**緊急地震速報 フレッツタイプ 西日本（フレッツ 光ネクスト以外）※3**
契約番号	ー（入力不要）
パスワード	ー（入力不要）
設定情報1	緯度
設定情報2	経度
設定情報3	地盤増幅率
設定情報4	報知レベル（「3」または「4」）※1
設定情報5	ー（入力不要）

サービス種別 **種別 4**	**緊急地震速報 フレッツタイプ 東日本（フレッツ 光ネクスト）**
契約番号	ー（入力不要）
パスワード	ー（入力不要）
設定情報1	緯度
設定情報2	経度
設定情報3	地盤増幅率
設定情報4	報知レベル（「3」または「4」）※1
設定情報5	ー（入力不要）

サービス種別 **種別 5**	**緊急地震速報 フレッツタイプ 西日本（フレッツ 光ネクスト）**
契約番号	ー（入力不要）
パスワード	ー（入力不要）
設定情報1	緯度
設定情報2	経度
設定情報3	地盤増幅率
設定情報4	報知レベル（「3」または「4」）※1
設定情報5	ー（入力不要）

※1：報知レベルの設定を「3」または「4」以外の数値を入力したときは、自動的に「3」に設定されます。

※2：フレッツ 光ネクスト以外とは、「Bフレッツ」「フレッツ・ADSL」を示します。

※3：フレッツ 光ネクスト以外とは、「フレッツ・光プレミアム」「Bフレッツ」「フレッツ・ADSL」を示します。

お知らせ

●緯度・経度・地盤増幅率は、18桁（小数点を含む）以内の数字を半角で入力してください。
また、数字を入力するときは、数値の前後やあいだにスペースを入れないでください。

Webブラウザを利用して設定するときは、設定画面の［※緯度・経度・地盤増幅率の調べ方］をクリックして、設定情報（緯度・経度地盤増幅率）を調べて入力してください。
※設定情報の入力に誤りがあると、到達猶予時間と予測震度の誤報の原因となりますので、ご注意ください。

緊急地震速報（予報）の動作を確認する

緊急地震速報（予報）を受けたときの本機の動作について確認をすることができます。確認には、「報知テスト」「メールテスト」「報知とメールテスト」の3種類があります。

※緊急地震速報（予報）をお使いになる前に、動作確認することをお勧めします。また、メール送信の設定（取扱説明書114ページ）を変更したときは、必ず「メールテスト」をしてメールが送れることを確認してください。

1 待受表示中に
メニュー 決定 **を押す**

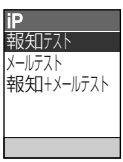
2 **の▼または▲を押して**
「親機設定」を選び、
メニュー 決定 **を押す**

3 **の▼または▲を押して**
「緊急地震速報」を選ぶ

4 メニュー 決定 **を押す**

5 **の▼または▲を押して**
「テスト」を選ぶ

6 メニュー 決定 **を押す**



7 **の▼または▲を押して**
テストの種類を選ぶ

「報知テスト」「メールテスト」「報知＋メールテスト」の中から選びます。

8 メニュー 決定 **を押す**

「テストを開始します」と表示し、テストが開始されます。

お知らせ

- 報知テストは、すべてのスピーカーから報知されます。
- 報知テスト中に電話がかかってきたときは、電話の呼び出し音は鳴りません。
- 緊急地震速報通知メールの設定（11ページ）が「OFF」のときは、メールは送信されません。
- 周囲の環境により、電波の届く距離が異なります。
  設置場所によっては、緊急地震速報（予報）が正常に動作しないことがありますので、「報知テスト」をして、音声が正常に動作する場所に子機を置いてください。

テスト内容について

※次の情報を固定的に想定してテストされます。

- 到達猶予時間：30秒前
- 予測震度：震度5弱

報知テスト　：まず最初に「緊急地震速報テストです」とメッセージが流れたあと、緊急地震速報（予報）の報知をします。

※報知内容は、報知方法の設定（14ページ）によって異なります。
報知内容については、9ページをご覧ください。

メールテスト：件名に「【テスト】緊急地震速報（予報）通知」、本文の先頭に【テスト】と入ったメール本文が送信されます。
発生日時は、テストをした時刻が表示されます。＜例文参照＞

＜「緊急地震速報通知メール」の例文＞

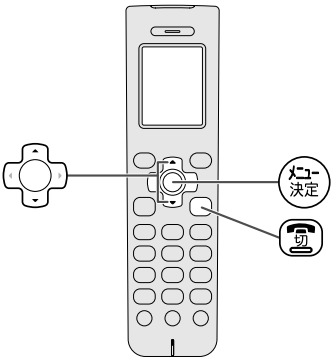
件名：【テスト】緊急地震速報（予報）通知

【テスト】
緊急地震速報（予報）が通知されました。

［発生日時］
12月25日　18時　4分15秒
［震央地名］
不明

［到達予測日時］
12月25日　18時　4分45秒
［予測震度］
震度5弱

バージョンを確認する



1 待受表示中に
メニュー 決定 **を押す**

2 **の▼または▲を押して**
「親機設定」を選び、
メニュー 決定 **を押す**

3 **の▼または▲を押して**
「緊急地震速報」を選ぶ

4 メニュー 決定 **を押す**

5 **の▼または▲を押して**
「バージョン情報」を選ぶ

6 メニュー 決定 **を押す**
バージョンが表示されます。

7 待受表示に戻すには
切 **を押す**

ファームウェアを更新する

液晶ディスプレイに「ファームウェアを更新してください」と表示されたときは、ファームウェアの更新をしてください。

1 待受表示中に
メニュー 決定 **を押す**

2 **の▼または▲を押して**
「親機設定」を選び、
メニュー 決定 **を押す**

3 **の▼または▲を押して**
「緊急地震速報」を選ぶ

4 メニュー 決定 **を押す**

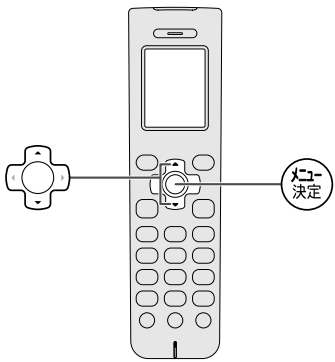
5 **の▼または▲を押して**
「ファームウェア更新」を選ぶ

6 メニュー 決定 **を押す**

7 メニュー 決定 **を押す**

ファームウェア更新の更新が始まります。

※ファームウェア更新中は、親機のLANランプが点灯（赤色）されます。点灯中は、ネットワーク設定を表示することはできません。



お知らせ

- ファームウェアの更新中は、「ファームウェアを更新中です 電源を切らないで下さい」と表示されます。表示中は親機や子機の電源を切らないでください。
  また、ネットワークに関わる機能の操作をすることはできません。
- 更新可能なファームウェアがないときは、「更新可能な ファームウェアは ありません」と表示され、待受表示に戻ります。

緊急地震速報（予報）の報知内容について

緊急地震速報（予報）の報知方法には、「詳細」と「あいまい」があります。
報知方法は変更することができます。（14ページ）

【お買い上げ時は、報知方法「詳細」】

■通常の報知について

報知方法	報知内容
詳　細	次のように、到達猶予時間と予測震度を具体的に報知します。 1. 到達猶予時間が65秒以上のとき、地震発生を報知する **［報知音］「地震が発生しました」** 2. 5秒ごとに到達猶予時間と予測震度を報知する **［報知音］「○○秒後、震度□の揺れがきます。」** 3. 10秒前から1秒前まで1秒ごとにカウントダウンをする 4. カウントダウン終了後、30秒間、報知音を連続して鳴らす （例）予測震度が震度5弱、到達猶予時間が30秒のとき ［報知音］「30秒後、震度5弱の揺れがきます。」 ［報知音］「20秒後、震度5弱」 ［報知音］「15秒後、震度5弱」 ［報知音］「10、9、8、…3、2，1」 アナウンス終了後、30秒間報知音を連続して鳴らす。 予測震度が表示されます。
あいまい	次のように、地震を報知します。 • 到達猶予時間を3つに分けて報知する **10秒未満：すぐに** **30秒未満：まもなく** **30秒以上：地震が発生しました** • 予測震度を2つに分けて報知する **震度5弱以上：強い揺れ** **震度5弱未満：揺れ** （例）予測震度が震度5弱以上、到達猶予時間が30秒のとき ［報知音］「地震が発生しました」※ ［報知音］「まもなく、強い揺れがきます。」※ ［報知音］「すぐに、強い揺れがきます。」※ アナウンス終了後、30秒間、報知音を連続して鳴らす。 ※時間内中は、連続してお知らせします。 「地震発生」と表示されます。

■その他の報知について

報知の種類	報知内容
遅報	緊急地震速報（予報）が間に合わなかったときは、次のように報知します。 ［報知音］「地震が発生しました」 アナウンス終了後、30秒間、報知音を連続して鳴らす。 ※液晶ディスプレイは、報知方法（「詳細」または「あいまい」）の設定状況に応じてその内容が表示されます。
キャンセル報	緊急地震速報（予報）の報知中に、緊急地震速報（予報）の取り消しを受けたときは、すぐに報知を中止して緊急地震速報（予報）を停止する報知に変更します。 また、緊急地震速報（予報）の報知終了後に取り消しを受けたときも、取り消しを意味するキャンセル報を報知します。 「緊急地震速報を解除します。」

報知中の動作について

親機：LANランプが点滅（赤色）されます。

子機：スピーカーから最大音量で報知されます。
液晶ディスプレイが点灯して、操作ボタンと簡易ライト、充電/着信ランプが点滅されます。

お知らせ

●次のときは動作を中止して緊急地震速報（予報）が優先されます。
- ・電話の着信中
- ・電話の通話中（耳に当てての通話のときは、緊急地震速報（予報）を中音量で流します。通話中以外の子機では最大音量で流れます。）
- ・電話をかけているとき
- ・保留中
- ・留守番電話動作中
- ・録音中
- ・機能の設定・登録操作中（操作中の内容は確定されません。）

●訓練報・試験報について

緊急地震速報配信サービスから「訓練報」「試験報」を受けたときは、「報知テスト（6ページ）」と同じ動作をします。ただし、到達猶予時間と予測震度は、緊急地震速報配信サービスから指定された内容で報知をします。

●緊急地震速報（予報）の報知中は、簡易ライトの点灯操作（取扱説明書150ページ）以外のすべての操作をすることはできません。

緊急地震速報通知メールを使う

緊急地震速報（予報）を受けたとき、その内容を登録したすべてのメール宛先（取扱説明書114ページ）へメールを送ってお知らせすることができます。

1 メール設定ページを開く
（取扱説明書113ページ）

2 「緊急地震速報通知メール」の［ON］を選ぶ

3 ［決定］をクリックする

[トップ]をクリック：コントロールパネルへ戻る
[戻る]をクリック　：前画面に戻る

＜「緊急地震速報通知メール」の例文＞

件名：緊急地震速報（予報）通知

緊急地震速報（予報）が通知されました。

［発生日時］
12月25日　18時　4分15秒
［震央地名］
鳥取県東部

［到達予測日時］
12月25日　18時　4分45秒
［予測震度］
震度5弱

メモ

●メール送信を解除するには

手順 **2** で［OFF］を選びます。

お知らせ

●サービスにより震央地名が不明のときは、「震央地名：不明」と表示されます。
●震央地名は、全角10文字まで表示されます。
●キャンセル報を報知したときは、緊急地震速報（予報）の解除を知らせるメールを送ります。

＜「緊急地震速報（予報）解除メール」の文＞

件名：緊急地震速報（予報）解除

緊急地震速報（予報）が解除されました。

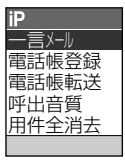
※緊急地震速報通知メールが未送信の地震に対しては送信されません。

安否確認メールを送信する

緊急地震速報（予報）後、約30分以内に子機で「一言メール」の送信操作をすると、登録したすべてのメール宛先（取扱説明書114ページ）へ「安否確認メール」の内容を送ることができます。

1 待受表示中に

メニュー 決定 **を押す**



2 メニュー 決定 **を押す**

「安否確認メール 送信開始 しました」と表示され、待受表示画面に戻ります。

＜「安否確認メール」の文＞

件名：【地震発生】安否確認メール

安否確認操作が行われました。

メモ

●メールが送信できなかったときは

再送信待ちになり、5分間隔で自動的に2回再送信します。再送信中は、新たな安否確認メールの送信操作をすることはできません。

●「メール送信できません」と表示されたときは

本機とサーバーとの疎通が途絶えている状態やメール送信の設定をしていない状態で送信操作をしています。

お知らせ

●緊急地震速報（予報）後、約30分以内であれば一言メールの送信操作により何回でも安否確認メールが送信されます。

Webブラウザで設定をする

ネットワークに接続されたパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザを利用して、「緊急地震速報（予報）の設定」と「高度な設定」をすることができます。

緊急地震速報（予報）の設定をする

1 コントロールパネルを開く（取扱説明書101ページ）

2 ［緊急地震速報］をクリックする

3 サービス種別を選ぶ

4 ［決定］をクリックする

5 契約番号・パスワード・設定情報1～5を入力する

※4ページの「緊急地震速報サービス種別割り当て表」をご覧ください。

6 ［決定］をクリックする

[トップ]をクリック：コントロールパネルへ戻る
[戻る]をクリック　：前画面に戻る

お知らせ

●契約番号・パスワード・設定情報は、サービスの種別により、4ページ「緊急地震速報サービス種別割り当て表」のように割り当てられています。
各項目の内容については、サービス提供事業者にお問い合わせください。

●OCN緊急地震速報の契約で、すでにパソコンなどの他の機器で、OCN IPv6サーバに接続されているときは、固定/非固定プレフィックス用接続サーバ名が重複しないように設定してください。

次ページへつづく→

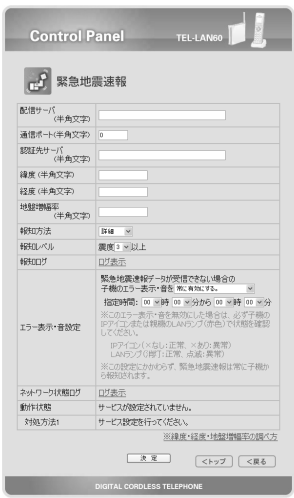
高度な設定をする

ネットワークやサービスの接続に不具合が発生することが ありますので、不用意に設定の変更をしないでください。

1 コントロールパネルを開く（取扱説明書101ページ）

2 ［高度な設定］をクリックする

3 ［緊急地震速報］をクリックする



4 設定する項目を選び、内容を変更する

※報知ログを表示させるには、［ログ表示］をクリックします。［戻る］をクリックすると前画面に戻ります。

5 ［決定］をクリックする

設定内容が確定され、親機が自動的に再起動されます。

※再起動中は、親機のLANランプが点灯（赤色）されます。
点灯中は、ネットワーク設定を表示することはできません。

[トップ]をクリック：コントロールパネルへ戻る
[戻る]をクリック　：前画面に戻る

お知らせ

●緊急地震速報（予報）の各項目が正しく設定されたときは、「動作状態」の欄に「正常動作中です。」と表示されます。設定に誤りがあるときは、「動作状態」と「対処方法」の欄に、その内容が表示されます。

■「緊急地震速報」の設定項目

項　目	ページ
配信サーバ	ー
通信ポート	ー
認証先サーバ 認証先URLを入力	ー
緯度 18桁（小数点を含む）以内の数字を半角で入力	ー
経度 18桁（小数点を含む）以内の数字を半角で入力	ー
地盤増幅率 18桁（小数点を含む）以内の数字を半角で入力	ー
報知方法 報知方法を設定する 初期値（ 詳細 ／ あいまい ） ※NTPによる時刻取得が無効のときは、設定に関わらず「あいまい」の表現で報知されます。	9
報知レベル 報知を開始する地震の震度を設定する 初期値（ 3 ／ 4 ）	ー
報知ログ 過去20件分の報知ログを表示する	16
エラー表示・音設定 緊急地震速報データを受信できないときの子機のエラー表示・音による報知を有効・無効、または時間指定の設定をする	17
ネットワーク状態ログ ネットワークの過去、現在の状態ログを日時と動作状態で表示する	17
動作状態 緊急地震速報の各項目の設定状態を表示する ※通常は、「正常動作中です」と表示されます。	ー
対処方法 設定に誤りがあるときは、対処方法を表示する	ー

報知ログ表示について

報知ログ表示には、次の項目が表示されます。

- 発生日時
- 種別
  - 通常
  - 訓練（配信サーバから訓練報を受けたとき）
  - 試験（配信サーバから試験報を受けたとき）
  - 取消（キャンセル報）※震央地名・到達予測日時・予測震度の欄は「ー」
- 震央地名
  - ※何らかの要因によって震央地名が取得できないときは「不明」
- 到達予測日時
- 予測震度
- 報知実施（報知：○、未報知：×）
  - ※未報知のときは、未報知理由コードを（ ）内に表示（「未報知理由コード表」を参照）

●予測震度が報知レベル設定値以下など、報知に至らなかったときもログ保存されますので、確認することができます。
●データの異常などの要因により、演算することができず未報知となったときは、到達予測日時・予測震度の欄に「ー」と表示されます。

■未報知理由コード表

コード	概　要
1	予測震度の演算結果が、報知レベル（14ページ）の設定値以下のとき
2	震源の深さが150kmを超えているとき （このときは予測震度と到達猶予時間の演算はしないため）
3	到達猶予時間の演算結果が255秒を超えたとき （このときは予測震度と到達猶予時間の演算はしないため）
4	未報知のキャンセル報を受信したとき
5	同時に複数の地震が発生したため、報知しなかったとき
6	通常報の報知中に訓練報を受信したため、訓練報を報知しなかったとき
7	最終報以外の演算結果に基づいて報知をしたが、最終報による演算結果では、予測震度が報知レベル（14ページ）の設定値以下となったとき ※報知実施欄には、○（7）と表示

エラー表示・音設定について

緊急地震速報データを受信できないときの子機のエラー表示・音による報知を、次の中から選ぶことができます。

- 常に有効にする
- 指定時間だけ無効にする
- 常に無効にする

※「常に無効にする」と選んだときは、必ず親機のLANランプ（赤色）と子機の液晶ディスプレイの「 iP 」表示を見て、状態を確認します。

＜親機のLANランプ（赤色）＞

消灯：正常　　点滅：異常

＜子機の液晶ディスプレイ＞

iP ：正常　　iP ：異常

●緊急地震速報は、この設定に関係なく常に子機から報知されます。

ネットワーク状態ログ表示について

ネットワーク状態ログ表示には、日時と状態が表示されます。

状　態	説　明
起動完了（種別※）	電源オン、または再起動しました
データ受信開始	緊急地震速報のデータ受信を開始しました
リンクエラー発生	宅内ネットワークの異常が発生しました
リンクエラー回復	宅内ネットワークの異常から回復しました
受信エラー発生	宅外ネットワークの異常が発生しました
受信エラー回復	宅外ネットワークの異常から回復しました

■この商品の操作方法に関するご相談窓口

フリーコール番号　0088-22-8634（無料）

受付時間：月曜日～金曜日　9：00～17：00（祝日および当社の休日を除きます。）

上記番号をご利用できないときは　鳥取（0857）21-1026（有料）におかけください。

■修理や部品に関するご相談窓口

お買い上げ販売店、または取扱説明書159ページの修理相談窓口にお問い合わせください。

※相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについては、取扱説明書159ページをご覧ください。

三洋電機株式会社

三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社

家電事業部

〒680-8634　鳥取県鳥取市立川町7丁目101

Printed in China

9RR6P14AA2600D